

平成28年度 女性活躍推進事業実施状況

目次

- 職業生活における女性活躍推進
 1. 職業生活における女性活躍推進の必要性
 2. 本市の現状
 3. 仙台市働く女性の活躍推進計画
 4. 計画に基づく事業の推進
 5. 今後の取り組み
- 地域における女性活躍推進
 1. 地域における女性活躍推進の必要性
 2. 事業の推進
 3. 関係団体の取り組み
 4. 今後の取り組み

職業生活における 女性活躍推進

1. 女性活躍推進の必要性

(1)「就労と女性」の現状

第1子出産を機
に離職する女性
の割合

約5割

国立社会保障・人口問題研究所
「第15回出生動向基本調査」

働きたくても育児や
介護などを理由に
働いていない女性

約300万人

総務省「平成27年労働力調査」

管理職に占める
女性の割合

12.5%

総務省「平成27年労働力調査」

フィリピン	47.3%
米 国	43.4%
スウェーデン	39.5%
オーストラリア	36.2%
ノルウェー	36.0%
英 国	35.4%

女性の力が十分に発揮できていない。

1. 女性活躍推進の必要性

(2) 社会情勢の変化

人口減少による
労働力不足

ニーズの
多様化

グローバル化

持続的発展のため、
現役世代の有業率を
上げる必要がある。

多様な人の価値観や才能・技量を
生かして、競争力を強化する必要
がある。

問題解決には「女性の力」が鍵に。

1. 女性活躍推進の必要性

(3) 国の動き

●女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法、H28.4全面施行)

- 【国】基本方針等の策定
- 【自治体】推進計画の策定
- 【国・自治体・事業主】事業主行動計画の策定等
- 【国・自治体】女性の職業生活における活躍を推進するための支援措置
- 10年間の時限立法



1. 女性活躍推進の必要性

(3) 国の動き(厚生労働省)

●「えるぼし」認定制度

◆評価項目

- ① 採用
- ② 継続就業
- ③ 労働時間等の働き方
- ④ 管理職比率
- ⑤ 多様なキャリアコース

◆認定の段階

- 1段階目(★) ...上記5つのうち1つ又は2つの基準を満たす
- 2段階目(★★) ...上記5つのうち3つ又は4つの基準を満たす
- 3段階目(★★★) ...上記5つの全ての基準を満たす
- ✓ 上記に加え、実績を厚労省のウェブサイトにて毎年公表することが必要

◆市内認定企業...4社(全国で210社、H28.12.31時点)

- (株)七十七銀行(★★★)、ホシザキ東北(株)(★★)、
(株)NTT東日本ー東北(★★)、(株)日立ソリューションズ東日本(★★)



1. 女性活躍推進の必要性

(3) 国の動き(経済産業省)

①「新・ダイバーシティ経営企業100選」表彰

◆対象

- 規模に関わらず、「多様な人材の活躍を促し、企業価値向上につなげる」取組を行った企業

◆応募要件

- 原則として民間企業であること
- 応募時点までの過去1年間において、労働関連法令等に関して重大な違反がないこと
- 反社会的勢力とのつながり等、社会通念上表彰にふさわしくないと判断される問題がないこと
- 労働関連基準を満たすこと

◆市内表彰企業...2社 (株)セレクトイー、(株)門間筆笥店

②「ダイバーシティ経営戦略MeetUP！」 セミナー



無限大の好循環へ！

ダイバーシティ
経営戦略

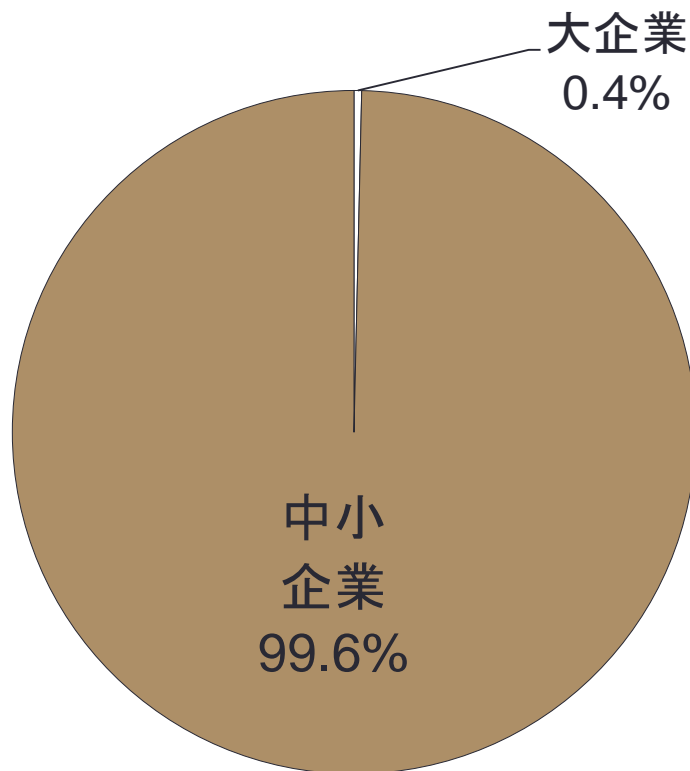


MeetUP!

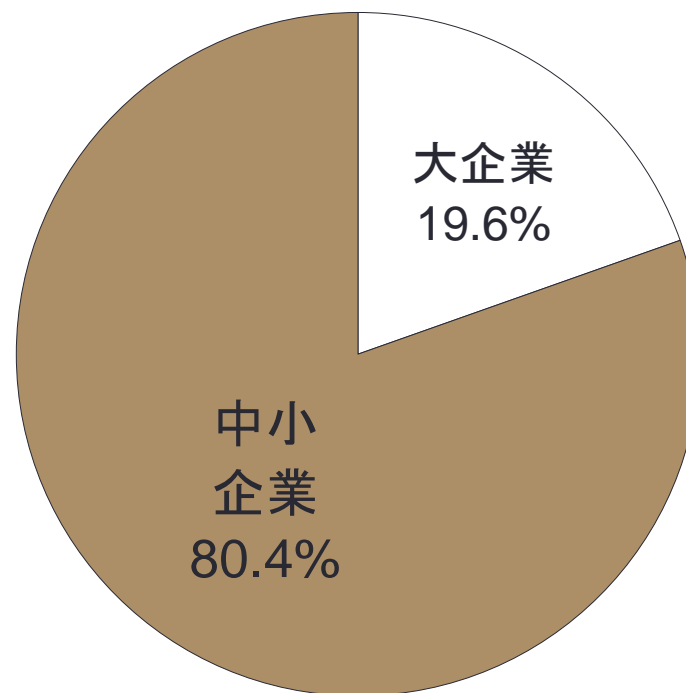
2. 本市の現状

(1) 市内企業全体に占める中小企業割合

事業所数

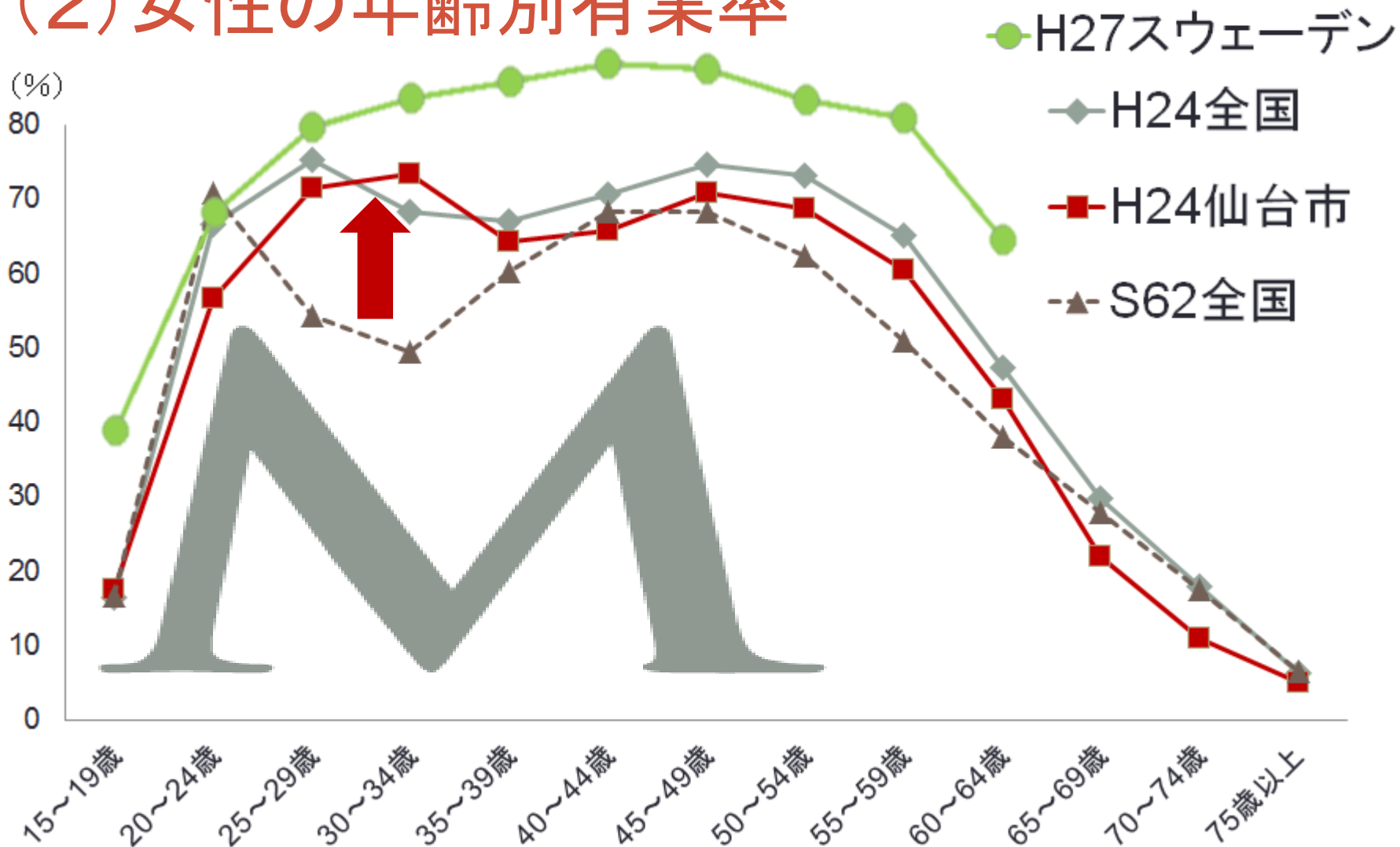


従業者総数



2. 本市の現状

(2) 女性の年齢別有業率



総務省「昭和62年就業構造基本調査」「平成24年就業構造基本調査」、ILO「ILOSTAT」より作成。

2. 本市の現状

(3) 管理職に占める女性の割合 (政令指定都市)

順位	都市名	女性割合
1	神戸市	22.5%
2	大阪市	20.9%
3	熊本市	20.5%
4	京都市	19.5%
5	福岡市	18.5%
6	広島市	17.1%
⋮	⋮	⋮
17	川崎市	9.5%
18	仙台市	8.5%
19	相模原市	8.0%
20	千葉市	7.1%



【仙台市】

8.5%

18位 / 20都市
(政令市平均13.9%)

【宮城県】

12.8%
(全国25位)

【全国平均】

13.4%

総務省「平成24年就業構造基本調査」より作成。

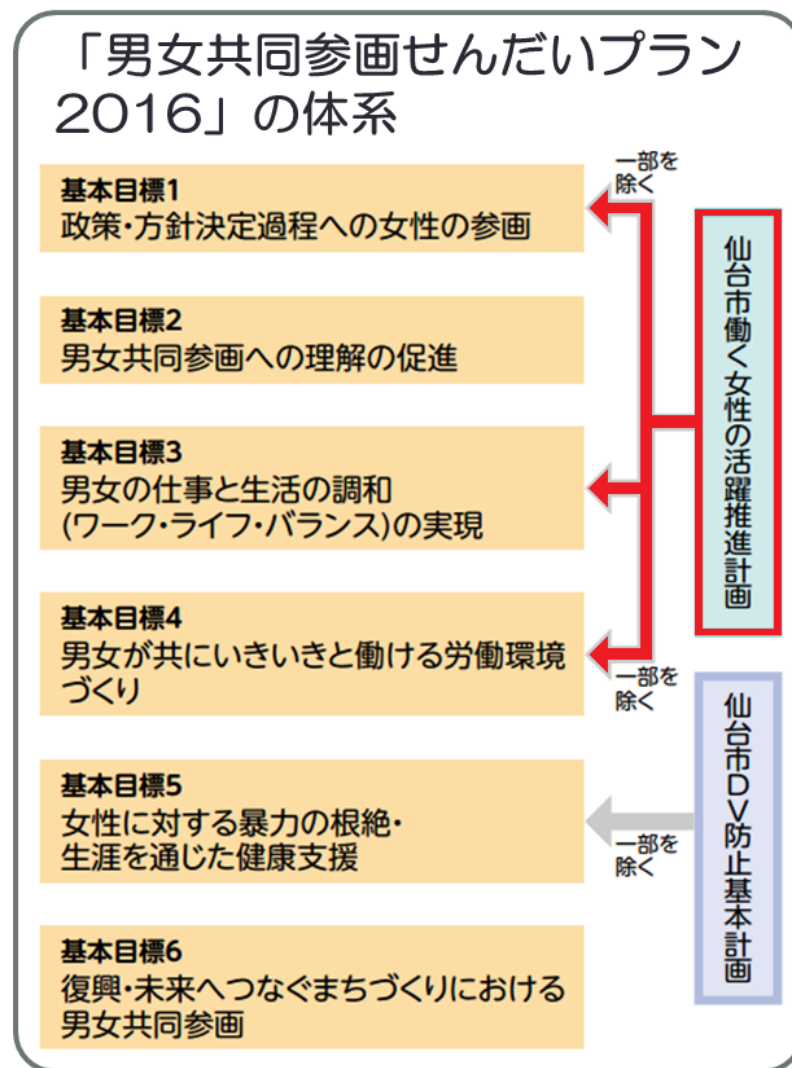
3. 仙台市働く女性の活躍推進計画

●ダイバーシティSENDAI ～仙台市働く女性の活躍推進計画～

➤平成28年3月策定

➤施策の方向

- I. 政策・方針決定過程への女性の参画
- II. 男女の仕事と生活(ワーク・ライフ・バランス)の調和
- III. 男女が共にいきいきと働ける環境づくり



4. 計画に基づく事業の推進

(1) 仙台市働く女性の活躍推進協議会

仙台経済同友会

宮城県中小企業
団体中央会

➤ 平成28年5月設置

仙台商工会議所

宮城県経営者協会

- 本市実施の
働く女性の活躍推進関連事業に
関する意見聴取

(株)七十七銀行

(株)日本政策金融公庫

- 関係機関相互の
情報共有・意見交換

東北経済産業局

宮城労働局

- 協議会参加団体の
イベント等への相互の

(公財) せんだい
男女共同参画財団

仙台市 ※事務局
(市民局男女共同参画課)
(子供未来局総務課)
(経済局地域産業支援課)

- 名義後援・広報への協力

4. 計画に基づく事業の推進

(2) 企業への啓発・ノウハウの提供

●ダイバーシティ推進シンポジウム

「本気で取り組む女性活躍」

- 平成28年11月11日開催
- ダイバーシティ経営に関する講演と市内企業の先進事例紹介
- 約200名が参加



カルビー松本会長による講演

●女性活躍先進企業事例集の発行(予定)

- 市内企業の取り組み事例と、市の支援事業などを紹介
- 市内の企業に配布するほか、市HPにも掲載
- 女性活躍推進の取り組み状況に関するアンケートを同封

4. 計画に基づく事業の推進

(3) 公共調達における優遇措置

- ▶ 女性活躍推進に取り組む企業に対して、工事の入札参加資格の格付け評点を加点
 - ✓ 労働者数301人以上 ⇒ えるぼし認定
 - ✓ 労働者数300人以下 ⇒ 一般事業主行動計画策定・届出
- ▶ 平成29年4月より適用



4. 計画に基づく事業の推進 (4) 働く女性への啓発・支援

- 働く女性応援セミナー&ビュッフェ交流会
 - 平成28年11月29日開催
 - 「活躍している女性の体験談を伺う講演会」と、「仙台・宮城で働く女性のネットワーク構築」
 - 講演会に約100人、交流会に約70人が参加



ビュッフェ交流会

せんだい男女共同参画財団の事業

- 働く女性のpotluck meeting(ポットラック ミーティング)
 - 職場の枠を超えて経験や知恵を持ち寄る学び合いの場
 - 2ヶ月に1回程度、土曜の朝に開催
 - ゲストスピーカーとして在仙企業で働く女性を招き、ロールモデルの見える化を図っている



「土曜の朝活」で自己研鑽に励む皆さん

4. 計画に基づく事業の推進

(5) 企業の未来プロジェクト



① 「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」の受講

受講者数：平成27年度...18社から20人

平成28年度...23社から25人

- 企業から女性1人(原則)を推薦
- 職場のリーダーに求められるスキルを、全9日間のプログラムで、学びと実践を重ねながら習得
- 受講生同士の異業種ネットワークの形成



- ② パワハラなどの社内研修への講師派遣
- ③ 働く女性対象セミナー等の優先的受講
- ④ 女性活躍推進に関する各種相談

4. 計画に基づく事業の推進 (5) 企業の未来プロジェクト

受講者の声(あなた自身が成長したこと、得られたことは何ですか?)

受講生仲間から力を得る

同じように働いて、様々な問題に取り組んでいる女性が多くいるということを知り、勇気がわきました。

自分を理解する・他者を理解する

自分自身や周りの人たちを客観的に見られるようになり、それぞれの強みや弱み、違いがあるということを理解することができました。周りを変えるのではなく、まずは自分を変えていく必要があると気付きました。

「自分らしいリーダーシップ」の肯定

自分らしいリーダーになれば良いと教えられたことは、目からうろこの経験となりました。

「チーム力」を生かす

「自分」を主語として考えがちでしたが、「私たち」「チーム」を主語として考えるよう意識するようになりました。

5. 今後の取り組み

- 「企業向けセミナー」拡充

- 女性活躍推進担当者ワークショップ開催等 ⇒ **横のつながり**

- 「企業の未来プロジェクト」プログラム拡充

- 女性リーダー・トレーニング・プログラム受講生と修了生の
交流の機会を増やす ⇒ **縦のつながり**



地域における女性活躍推進

1. 地域における女性活躍推進の必要性



震災時...様々な課題が顕在化



平素から、女性が発言権をもつてまちづくりに参加し、リーダーシップを発揮していくことの必要性

2. 事業の推進

(1) 女性と防災まちづくり「決める・動く」



- ◆ 町内会やNPO、ボランティア団体などで活動している方が対象
※団体からの推薦者を優先
- ◆ 全7日間、約24時間のプログラムに参加し、地域でリーダーシップを発揮するための力を付ける

プログラム内容

- 自分の「強み」を見出す
- ネットワークを使いこなす
- マネジメント力を磨く
- 論理的に説明する力を付ける



まちづくりの担い手としての
活躍を応援

2. 事業の推進

(1) 女性と防災まちづくり「決める・動く」

◆ 受講者による研修成果報告（抜粋）

- 自身の「強み(=ストレングス)」を知ることによって自信が持てた
- 周囲の人のストレングスを分析して上手に人間関係を作っていける
- 一人で全てをやるのではなく、足りない部分は補える力を持った人に頼る

チーム “ストレングス”

- 一緒に動く、一緒に考える、一緒に困ることによって信頼が生まれる
- 信頼関係があると、困っているとき以外にもやりとりが持続し新たな事業が生まれる
- ネットワークとは、「つながり」であり、「縁」である

チーム “ネットワーク”

- チームワークを発揮するには、コミュニケーションが必須
- コミュニケーションを円滑にするには、一人ひとりを大切に、声掛けすること
- リーダーとして、自分の考えるチームの夢やビジョンを示すことが重要

チーム “コミュニケーション”

- 人を動かすには共感が必要、共感を得るには説得力が必要、説得力を得るには客観的なデータが必要
- 主観的な思いに客観性を持たせるとわかりやすい。共感につながる。
- 客観的データは見やすくわかりやすく工夫することで説得力が増す

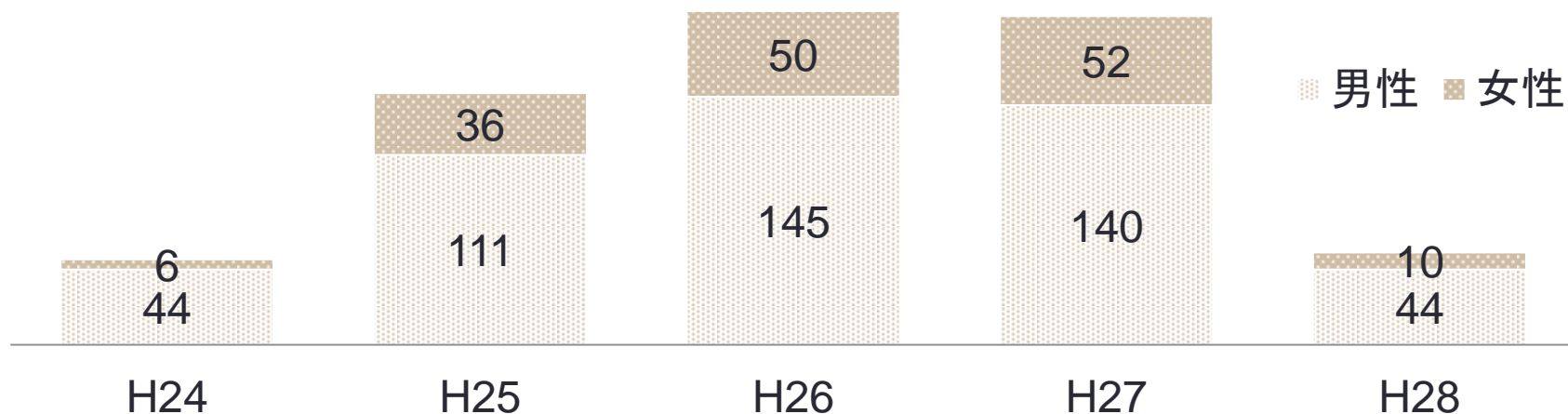
チーム “説得力”

2. 事業の推進

(2)「仙台市地域防災リーダー」(SBL)の養成

- 地域の役員等と協力し、地域に根差した自主防災活動を推進
- 地域防災リーダーに占める女性の割合
 - 638人中154人(H28時点)...全体の24.1%

【年度別仙台市地域防災リーダー養成講座受講者数】



- 修了後も...

バックアップ講習会

居住区ごとの取り組み

3. 関係団体の取り組み

(1)「みんなのための避難所作り」ワークショップ

- 主催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 避難所運営を題材に、様々な人が参加して解決策を話し合う

多様なニーズに気づく

多様な意見を尊重する



ワークショップを各地で開催

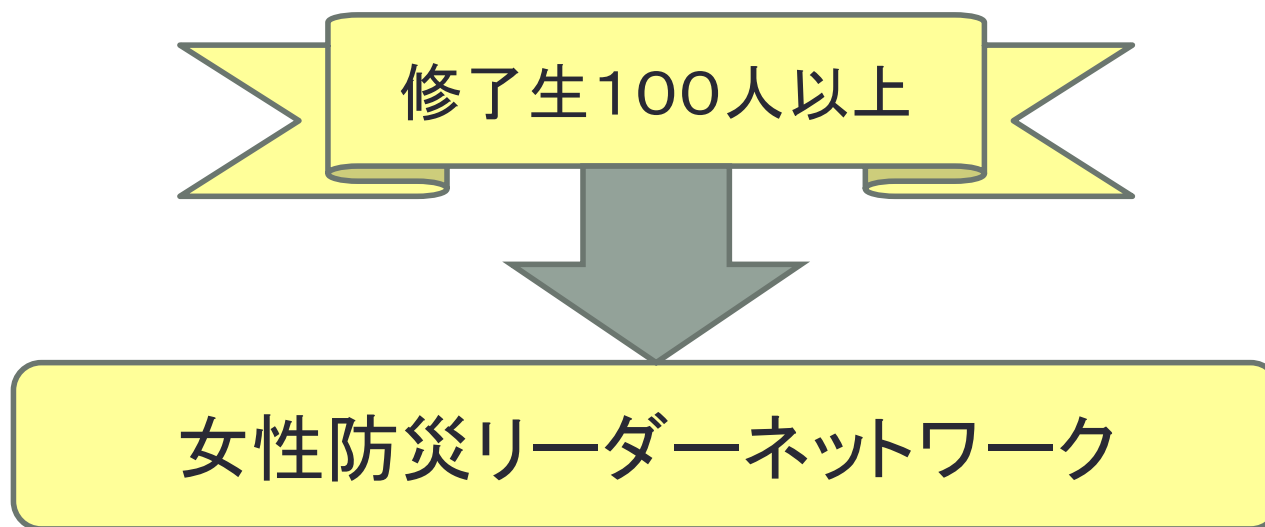


自由に活用できるテキストを発行

3. 関係団体の取り組み

(2) 女性のための防災リーダー養成講座

- 主催：特定非営利活動法人イコールネット仙台
- 地域で防災活動に取り組む意欲のある女性を対象に、講義やワークショップを実施
- 平成25年度開始



- 研修会や情報交換会を通して防災のスキルアップ
- 地域での防災の取り組みを企画運営
- 地域を超えてメンバー同士が支え合う

4. 今後の取り組み

- 世界防災フォーラムでの発信
 - 防災・まちづくりにおいて、女性がリーダーシップを発揮する必要性を紹介

